

厚木市日中友好協会 日中友好交流写真展 の開催

厚木市日中友好協会（高橋美紗子会長）は、3月5日（土）から8日（火）まで厚木市内の「アミューあつぎ」にて日中友好交流写真展「日中友好40年の歩み」を開催した。

写真展には厚木市と中国揚州市の姉妹都市交流に係る写真や、日中友好40年の歩みとして1972年の日

中共同声明調印時の写真などが展示されており、多くの市民の皆さんが熱心に観入っていた。

初日の3月5日（土）には、来賓や関係者など約60名が参加し開会式が開か



写真展



開会式

れ、主催者である高橋会長が「念願の日中友好交流写真展を開催することが出来た。沢山の方が観て、中国を知っていただきたきつけとなれば嬉しい」と挨拶。続いて小林常良厚木市長、義家弘介文部科学副大臣、上島保則当協会副会長、中華人民共和国駐日本国大使館欧陽安一等書記官（文化担当）が来賓として祝辞を述べた。

来賓としては、同大使館友好交流部孫永剛一等書記官、王磊二等書記官、地元選出の県議会議員、多数の市議会議員も出席した。

参加者は、この後、抹茶とお菓子をいただきながら、林敏氏による揚琴演奏などを楽しんでいた。

「市民活動フェア 二〇一六」に参加

かながわ県民活動サポートセンターを拠点とした団体・個人のお祭りである「市民活動フェア」が3月12日（土）と13日（日）、横浜駅西口近くのかながわ県民センターで開催され、当協会は女性部会（田島孝子部会長）を中心にボランティアの皆さん、「ボランティア日本語さくらの会」とともに今年も参加した。

当協会が行った催し物は、中国茶を飲みながら「胡心（こころ）倶楽部」による二胡演奏やチャイ華会員によるオカリナ演奏を聴くという企画や、バザー（部会員の寄付物品を販売）、着物の着付け、写真展示「かながわの中の中国」、さくらの会による日本語会話教室など多彩なプログラム。催し物には協会会員だけでなく多くの一般の方の参加を得ることができ、協会の活動を広く理解していた



「胡心倶楽部」による二胡演奏

本の紹介コーナー

『大連から』

田中 佐二郎著

幻冬舎

2015年10月27日発行

この作品は3篇からなる小説集である。「大連から」は、戦前日本の統治下にあった中国・大連

で育ち、中国人男性と結婚し、終戦後もこの地にとどまり、病や文化大革命の混乱時の迫害を乗り越えて日本語教師となつ

た日本人女性の物語である。

彼女は日本語指導に情熱を傾け、学生たちもまた慕い、これに応えた。

日中の懸け橋となった彼女の陰には、つねに傍らで支え続けた夫や愛すべき子供たちの存在があった。

他に「つなぎ手」、「家路」を収録しているが、「大連から」を含めて、いずれもひたむきに生きようとすると、その絆を描いた小説集であ

著者は熊本大学法文学部国語国文学科を卒業後、神奈川の県立高校教員になり、1989年から1991年まで派遣日本語教師として中国・大連外国語学院に勤務している。

